



WEBにも掲載しています

大崎第一
地域ニュース



はなぐるま

第184号 2026.8.20 発行

編集 はなぐるま編集委員会
〒141-0031 品川区西五反田 3-6-3 TEL:3491-2000
sakilc@city.shinagawa.tokyo.jp FAX:3491-2002
発行元 大崎第一地域センター

大崎第一探訪

地域の人や場所の「今」

大崎第一地区を中心に、品川区の人物や施設をご紹介いたします。時代とともに変わりゆく地域の姿と、そこに暮らす人々を通して品川区の魅力を共に再発見しましょう。

今回は品川消防署五反田出張所について、高瀬所長にインタビューしました。



高瀬所長

まず、所長のご経歴を教えてください。

高瀬所長（以下、高瀬）：2026年4月1日に五反田出張所へ着任しました。それまでは品川消防署本署の予防課で勤務し、建物を建てる際の消防検査や確認申請の消防同意、飲食店などのテナントが入居した際の消防検査などを担当していました。

なぜ消防士を目指したのですか。

高瀬：子どもの頃に、現場で活動する消防士の姿を見て憧れたことがきっかけです。消防には消火だけでなく、救急や救助など幅広い仕事があることを知り、やりがいがあると感じました。最初は江東区の城東消防署に配属され、その後は都内各地の消防署で勤務してきました。

五反田出張所では、どのような体制で地域の安全を守っているのでしょうか。

高瀬：五反田出張所には常時2台のポンプ車を配置しており、30名の職員が勤務しています。消防隊員は3交替制で24時間勤務しており、出勤がない時間には訓練や体力づくりにも取り組んでいます。火災現場では重い装備を着けて活動するため、日頃から体を鍛えておくことが欠かせません。



消防隊の皆さん

五反田出張所の管内にはどのような特徴がありますか。

高瀬：五反田出張所では、西五反田、上大崎、東五反田の一部を担当しています。この地域はオフィスビルやホテル、飲食店が多いことが特徴です。

消防隊の仕事について教えてください。

高瀬：普段は、火災が発生した際はもちろん、交通事故の現場での救助活動やガソリン漏れへの対応、玄関ドアが開かず中にいる方の安全確認が必要な場合にも出動します。また、救急車の到着まで時間がかかる場合には、先に現場へ向かい、応急処置を行うこともあります。また、建物の立ち入り検査や、地域の防災訓練の指導も行っています。

地域の皆さんとは、どのような関わりがありますか。

高瀬：町内会や事業所の防災訓練に伺い、消火器の使い方や災害時の対応について指導しています。また、地域のお祭りなどの行事にも協力させていただいています。保育園のお子さんたちが、消防車や消防隊員の装備を見学に来ることもありますね。

地域の方に、防災のために気を付けてほしいことはありますか。

高瀬：台風や大雨に備えて排水溝の掃除をしておくことが大切です。大雨の際は地域の防災放送なども確認し、早めの避難行動を意識していただきたいと思います。品川区のHPでは、誰でも利用できる水防用土の置き場一覧を公開していますので、事前に確認しておく安心です。また、最近のリチウムイオン電池による火災も増えています。充電中に熱くなったり、膨らんだりといった異常が見られた場合は使用を中止し、適切に処分してください。



リチウムイオン電池
の火災防止チラシ



品川区のページはこちら

どのようなときに仕事のやりがいを感じますか。

高瀬：地域の方から感謝の言葉をいただいたときは、やはりうれしいですね。感謝されることを目的にしているわけではありませんが、「ありがとう」と言っていたら、この仕事をやっていてよかったと感じます。

最後に、読者へのメッセージをお願いします。

高瀬：地域の皆さんに信頼され、頼りにしていただける出張所になりたいと思っています。実は、出張所の前には金魚の水槽があるんです。一時期は空になっていましたが最近再開いたしました。通りがかったときにも、ぜひのぞいてみてください。

品川消防署五反田出張所

住所：東京都品川区西五反田7丁目25-14
電話番号：03-3492-0119（代表）
◆救急車を呼ぶべきか迷ったときは
東京消防庁救急相談センター：#7119

（編集委員 白根）

大崎第一地域センターでは、「はなぐるま」のほかにも SNS やサイトで、地域の様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください！

※後日、地域共創メディア「大崎×五反田 LINK」にカラーの記事が掲載されます。



X (旧: Twitter)
@osakidai1



Instagram
osakidai1



大崎×五反田 Link
OSAKI x GOTANDA LINK

地域共創メディア
『大崎×五反田 LINK』

